

# 2010 年度前期 学生による授業評価アンケート結果

\*2009 年度の授業評価アンケートは、常勤教員 2 科目、非常勤講師 1 科目とし、先生方にアンケート対象科目を選んでいただき実施いたしました。

\*評価は 5 段階評価です。

## 1. 学生との意見交換会の報告

\*平成 22 年 2 月 17 日に各学科の 2 年生と 3 年生(計 20 名)と「学生による授業評価アンケート」についての意見交換を行いました。会では、学生から活発な意見が出されましたので、その一部を紹介します。

### ■授業評価にどのように取り組んでいますか？

- ・好き嫌いで影響される場合もある。
- ・アンケートをする時間帯によって取り組む姿勢が左右される(バスの時間など)。

### ■実施方法についてどう思いますか？

- ・先生が直接回収するのは抵抗を感じる。
- ・取り組む時間を確保して欲しい。
- ・やり方を統一して欲しい。

### ■質問項目についてどう思いますか？

- ・講義、演習、実技、実習の全てが同じ質問で行われるのは無理があると思う。
- ・「NA」の説明と指示をちゃんと欲しい。
- ・自由記述は改善に役に立つと思う。
- ・重複している質問があるように感じる。
- ・内容が曖昧すぎてわかりにくい質問がある。

### ■自由記述についてどう思いますか？

- ・名前を書くことには抵抗を感じる。でも、記名しないから何も書かない人もいる。
- ・書いた筆跡や内容によって誰が書いたかがわかってしまいそうで気になる。
- ・記名を求める先生とそうでない先生といるので、やり方を統一して欲しい。
- ・書いたことを先生が読んでくださっているのか、授業に反映されているのかが気になる。

### ■アンケートに答える回数は負担に感じますか？

- ・何科目もすると「またこれか・・・」と負担を感じる時もある。
- ・少人数のクラスだと回答しにくいし、重みを感じる。

### ■アンケート結果をホームページ上に公開していることを知っていますか？

☆知っている 1 名(20 人中)

### ■どうすればよりよい授業評価アンケートになると思いますか？

- ・アンケートの方針や意義をもっと知らせて欲しい。
- ・フィードバックにどのように繋がっているのかが学生たちに分かると、良くなると思う。

学生との意見交換会を通して、「評価がどのように改善につながっているのかが学生に見えていない点」が課題であると感じました。そこで、大学教育 FD センターでは、授業評価の実施方法をはじめ、質問項目の見直しや結果公開の方法など等について検討を進めています。そして、今年度は次の 2 つのことを行いました。

① 教員がアンケートを回収・提出するのではなく、学生が回収・提出を行う。

② 受講生が 5 名以下の科目は、アンケート実施対象外とする。

学生が回収・提出を行うことにしたのは「先生が直接回収するのには抵抗を感じる」という学生の意見に応えたためです。これにより、学生も主体的に授業改善に取り組んでいるという気持ちになるのではないかと思います。また、受講生が 5 名以下の科目を対象外にしたことも、学生の心理的な負担に応えたためです。

## 2. 全体の結果

実施科目数、全体の平均値(すべての科目の平均値の和を科目数で割ったもの)、質問項目別の全体平均値は次のとおりです。

①実施科目数 **106** 科目 (2009 年度前期 89 科目)

②全体の平均値

【表 1-1】

	2010 年度前期	2009 年度前期
平均	3.92	3.93

③質問項目別に見る全体平均(2009 年度前期との比較)

【表 1-2】

設問内容	2010 前期	2009 前期	
1.シラバスが授業に反映されていた	4.01	4.00	↑Up
2.成績評価の基準が示されていた	3.94	3.93	↑Up
3.教員の声や言葉の聞き取りやすかった	4.00	4.06	↓Down
4.授業の進行・内容のわかりやすかった	3.81	3.84	↓Down
5.板書・資料・教科書等は授業内容の理解に役立った	3.96	3.94	↑Up
6.学習に適した環境が保たれていた	3.76	3.79	↓Down
7.質問をくみ上げようとする教員の配慮があった	3.94	3.92	↑Up
8.質問に答えようとする教員の姿勢が見られた	4.00	3.99	↑Up
9.教員の熱意が感じられた	4.15	4.17	↓Down
10.課題の量は適切だった	3.91	3.98	↓Down
11.課題の内容は学習に役立った	3.94	3.99	↓Down
12.学生の努力が公正に評価されるように教員の配慮がなされていた	3.91	3.92	↓Down
13.自分(学生)は十分に準備をして授業に出席した	3.68	3.67	↑Up
14.授業内容に興味・関心をもった	3.97	3.97	—
15.いろいろな視点からとらえ、分析又は応用できるようになった	3.62	3.61	↑Up
16.この授業を受けてよかったと思う	4.13	4.15	↓Down

◆2010 年度前期の授業評価アンケートにおける各設問の全科目の平均と、2009 年度前期における結果との比較は次のとおりです。7つの項目で2009 年度前期を上回っています。全体平均で3.8を下回っている評価項目は「学習に適した環境が保たれていた(3.76)」、「自分(学生)は十分に準備をして授業に出席した(3.68)」、「いろいろな視点からとらえ、分析又は応用できるようになった(3.62)」です。これらの項目を3.8以上に上げるためにはどうすればよいか、さらなる検討が必要です。

### 3. 科目分野別の結果

\*「基礎科目」「基幹科目」「応用科目」と分かれている授業科目の中で、「基礎科目」をさらに「文献」「情報」「外国語」等に分類し、平均値を出したものが次の【表 2-1】です。「基幹科目」は各学科の専門科目を意味します。

#### ①分野別の平均(2009年度との比較)

◆『基礎科目』は主に 1,2 年生に開講されている科目です。

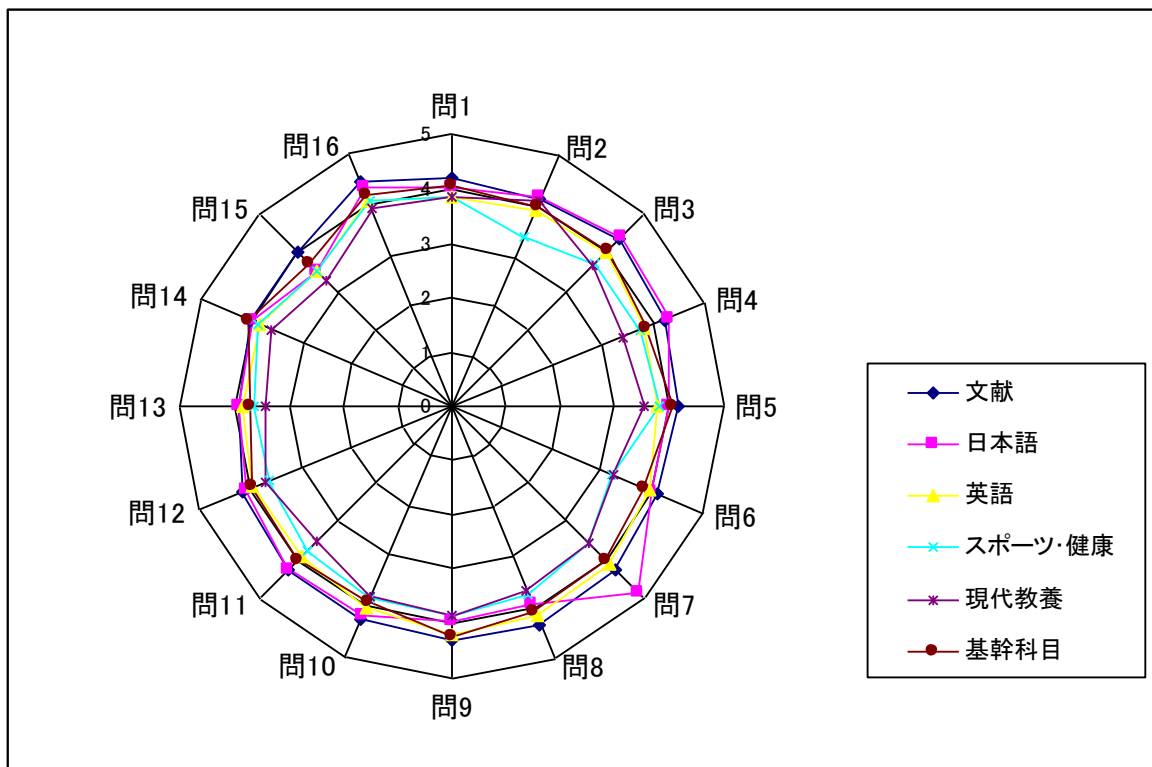
【表 2-1】

科目分野	2010 年度前期		2009 年度前期	
	平均	科目数	平均	科目数
基礎科目：文献講読演習	<b>4.19</b>	7	4.28	10
基礎科目：日本語科目	<b>4.05</b>	2	4.10	1
基礎科目：英語科目	<b>3.93</b>	17	4.05	7
基礎科目：情報・文献科目	—	—	4.13	3
基礎科目：スポーツ・健康	<b>3.69</b>	4	3.86	4
基礎科目：現代教養	<b>3.62</b>	5	3.63	6
基幹科目	<b>3.97</b>	63	4.01	49

#### ②質問項目別で見るレーダーチャート

【表 2-1】の科目分野について質問項目のレーダーチャートで見たものが下の【グラフ1】です。設問内容及び平均数値は【表 2-2】を参照してください。

【グラフ1】



## ※質問項目別にみる平均値

【表 2-1】で示した科目分野について、質問項目別に見た平均値は次のとおりです。

【表 2-2】

設問内容	文献	日本語	英語	スポーツ・健康	現代教養	基幹科目
1.シラバスが授業に反映されていた	4.20	4.01	3.86	3.84	3.85	4.07
2.成績評価の基準が示されていた	4.11	4.16	3.90	3.39	4.10	3.97
3.教員の声や言葉の聞き取りやすかった	4.37	4.40	4.02	3.70	3.62	4.05
4.授業の進行・内容のわかりやすかった	4.22	4.30	3.80	3.74	3.39	3.85
5.板書・資料・教科書等は授業内容の理解に役立った	4.16	4.00	3.78	3.80	3.54	4.05
6.学習に適した環境が保たれていた	4.10	4.00	3.96	3.18	3.22	3.83
7.質問をくみ上げようとする教員の配慮があった	4.26	4.83	4.11	3.58	3.57	4.00
8.質問に答えようとする教員の姿勢が見られた	4.34	3.91	4.15	3.73	3.68	4.06
9.教員の熱意が感じられた	4.29	3.95	4.18	3.84	3.85	4.22
10.課題の量は適切だった	4.28	4.21	4.02	3.83	3.80	3.91
11.課題の内容は学習に役立った	4.26	4.26	3.90	3.74	3.51	4.01
12.学生の努力が公正に評価されるように教員の配慮がなされていた	4.15	4.09	3.95	3.64	3.70	3.95
13.自分(学生)は十分に準備をして授業に出席した	3.93	3.90	3.83	3.65	3.41	3.69
14.授業内容に興味・関心をもった	4.02	3.98	3.86	3.89	3.61	4.05
15.いろいろな視点からとらえ、分析又は応用できるようになった	3.99	3.51	3.53	3.51	3.24	3.70
16.この授業を受けてよかったと思う	4.43	4.32	4.08	4.05	3.90	4.18

## 4. 授業形態別での結果

\* 授業の形態を「講義系授業」「演習系授業」で分類し、平均値を出したものが【表 3-1】です。

### ①授業形態別の平均

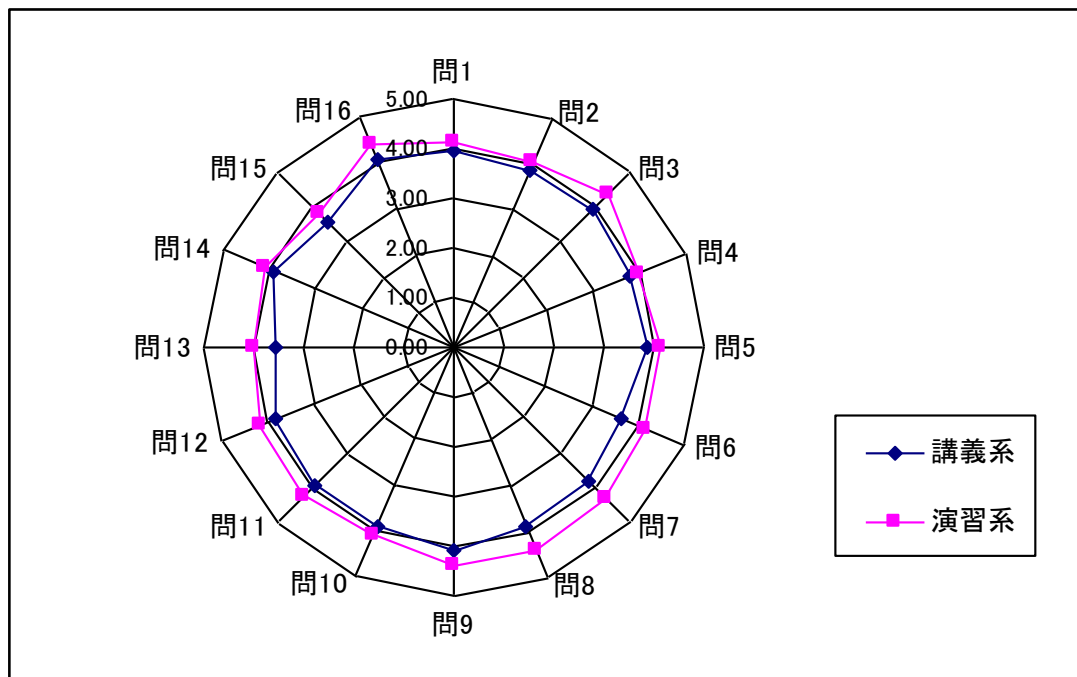
【表 3-1】

授業形態	2010 年度前期		2009 年度前期	
	平均	科目数	平均	科目数
講義系	<b>3.83</b>	65	3.85	55
演習系	<b>4.18</b>	29	4.18	27
実技系	—	—	3.84	10

## ②授業形態別に見るレーダーチャート

【表 3-1】で示した銃合計大別の科目について、レーダーチャートで見たものが下の【グラフ 2】です。設問内容及び平均数値は【表 3-2】を参照してください。

【グラフ 2】



### ※質問項目別に見る平均値

【表 3-1】で示した授業形態別の結果を、さらに質問項目別に見たものが次の【表 3-2】です。

【表 3-2】

設問内容	講義系	演習系
1.シラバスが授業に反映されていた	3.97	4.14
2.成績評価の基準が示されていた	3.91	4.00
3.教員の声や言葉の聞き取りやすかった	3.89	4.36
4.授業の進行・内容のわかりやすかった	3.71	4.07
5.板書・資料・教科書等は授業内容の理解に役立った	3.90	4.18
6.学習に適した環境が保たれていた	3.62	4.15
7.質問をくみ上げようとする教員の配慮があった	3.81	4.29
8.質問に答えようとする教員の姿勢が見られた	3.89	4.32
9.教員の熱意が感じられた	4.06	4.40
10.課題の量は適切だった	3.81	4.16
11.課題の内容は学習に役立った	3.84	4.21
12.学生の努力が公正に評価されるように教員の配慮がなされていた	3.83	4.15
13.自分(学生)は十分に準備をして授業に出席した	3.56	4.01
14.授業内容に興味・関心をもった	3.88	4.20
15.いろいろな視点からとらえ、分析又は応用できるようになった	3.53	3.92
16.この授業を受けてよかったと思う	4.04	4.37

## 5. 受講者数別での結果

### ①受講者別の平均

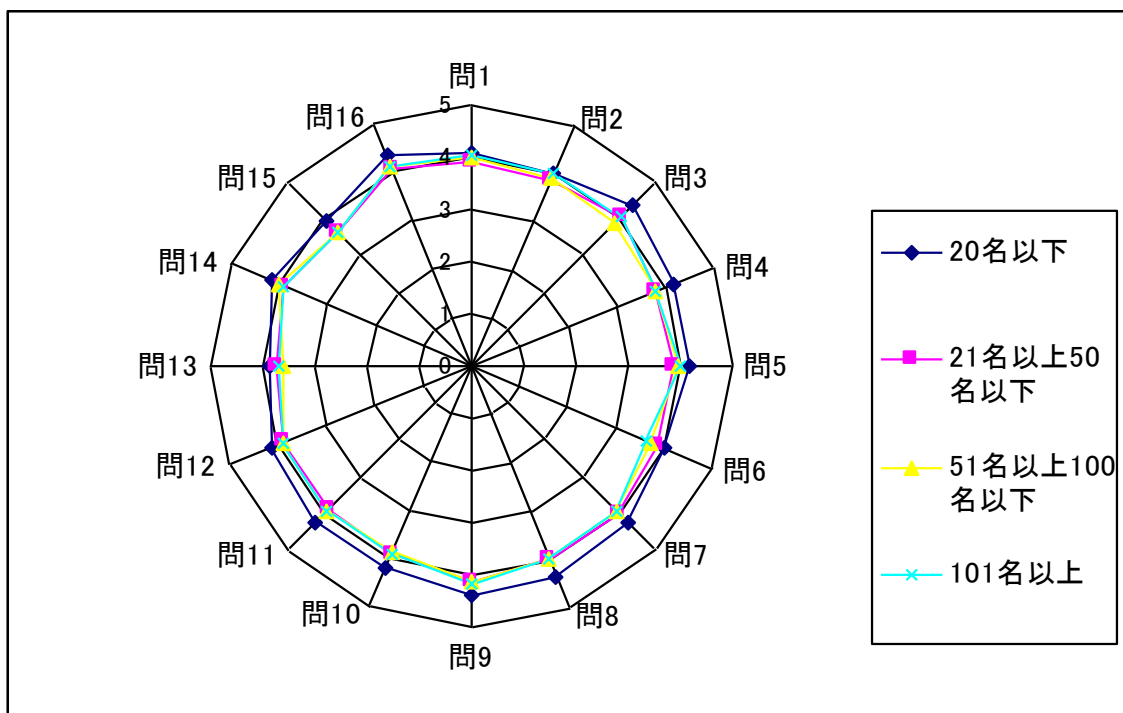
【表 4-1】

受講者数	2010 年度前期		2009 年度前期	
	平均	科目数	平均	科目数
20 名以下	<b>4.17</b>	23	4.31	22
21 名以上 50 名以下	<b>3.90</b>	34	3.96	38
51 名以上 100 名以下	<b>3.90</b>	35	3.94	19
101 名以上	<b>3.92</b>	14	3.82	10

### ②受講者別に見るレーダーチャート

【表 4-1】の受講者数別の科目を質問項目のレーダーチャートで見たものが【グラフ 3】です。設問内容及び平均値は【表 4-2】を参照してください。

【グラフ 3】



### ※質問項目別にみる平均値

【表 4-2】

設問内容	20 名以下	21 名以上 50 名以下	51 名以上 100 名以下	101 名以上
1.シラバスが授業に反映されていた	4.07	3.92	4.01	4.05
2.成績評価の基準が示されていた	4.00	3.85	3.92	4.00
3.教員の声や言葉の聞き取りやすかった	4.34	4.03	3.89	4.10
4.授業の進行・内容のわかりやすかった	4.16	3.77	3.78	3.80
5.板書・資料・教科書等は授業内容の理解に役立った	4.17	3.89	3.94	4.00

6.学習に適した環境が保たれていた	4.00	3.87	3.74	3.66
7.質問をくみ上げようとする教員の配慮があった	4.28	3.98	3.90	3.91
8.質問に答えようとする教員の姿勢が見られた	4.33	4.01	3.98	3.98
9.教員の熱意が感じられた	4.41	4.14	4.11	4.18
10.課題の量は適切だった	4.21	3.90	3.87	3.91
11.課題の内容は学習に役立った	4.22	3.89	3.95	3.91
12.学生の努力が公正に評価されるように教員の配慮がなされていた	4.15	3.86	3.90	3.92
13.自分(学生)は十分に準備をして授業に出席した	3.86	3.72	3.62	3.69
14.授業内容に興味・関心をもった	4.18	3.91	3.99	3.93
15.いろいろな視点からとらえ、分析又は応用できるようになった	3.95	3.59	3.62	3.59
16.この授業を受けてよかったと思う	4.36	4.07	4.12	4.14

◆「質問項目別にみる平均値」においては、101名以上の授業科目で「学習に適した環境が保たれていた」が3.66ポイントと低く、大人数のクラスでいかに学習しやすい環境を保つかは大きな課題であると言えます。

## 6. 教員のフィードバックアンケート結果から

\* 学生の皆さんにご協力いただいた授業評価アンケートを受けて、先生方へ授業改善に対するフィードバックアンケートを実施しました。回答者数及びアンケート結果は次のとおりです。アンケートの結果はグラフにし、授業評価に対する教員の意見や感想を掲載しております。

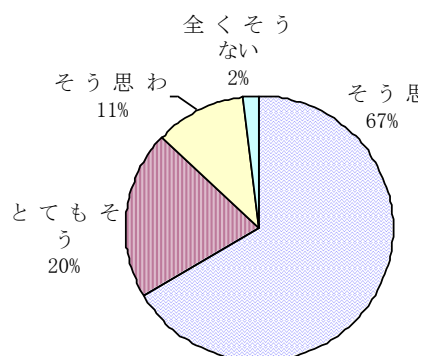
### ① 回答者数

●常勤教員 25人(回収率 52%)

●非常勤講師 29人(回収率 71%)

### ② アンケート結果

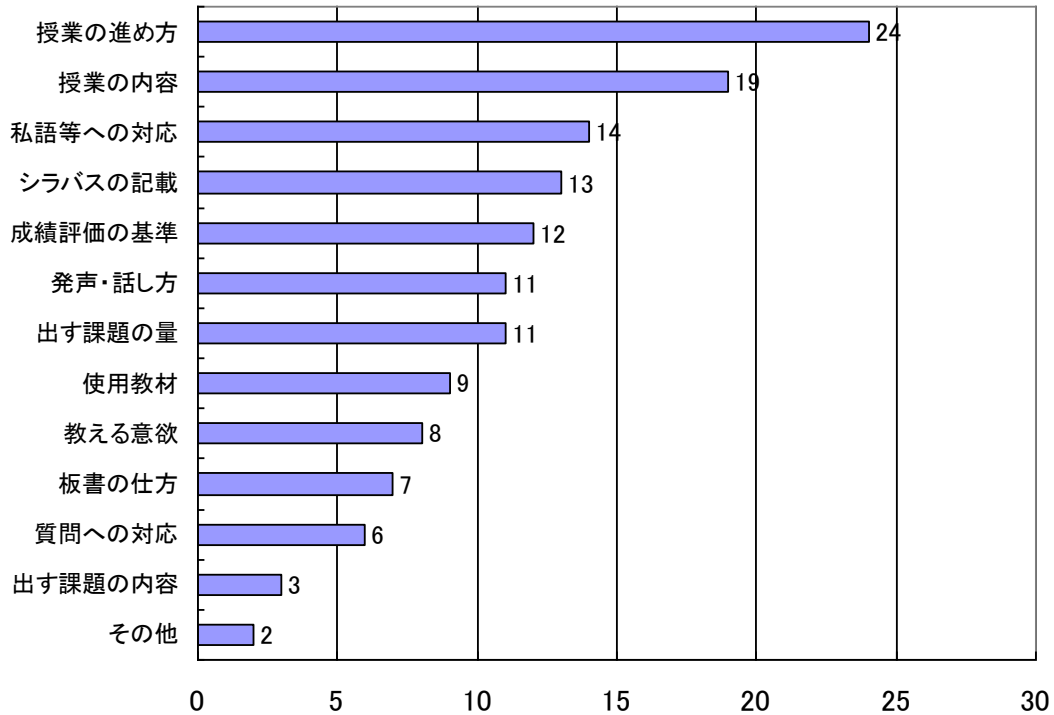
#### 問1 授業評価アンケートは今後の授業改善につながると感じますか？



◆この質問に対して、合計 87%の教員が肯定的な評価をしていることがわかります。

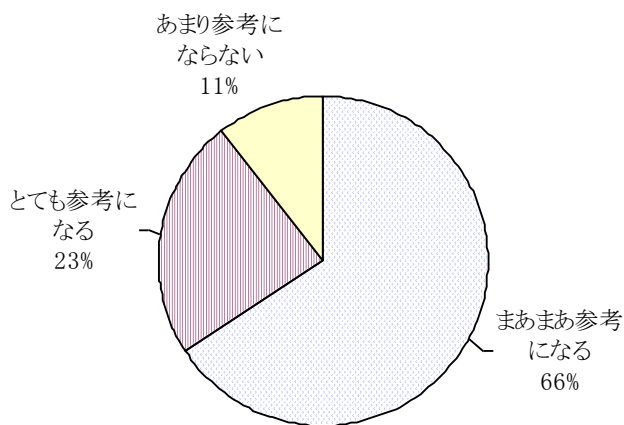


## 問2 具体的にどのような点を改善しようと思いましたか？



◆この質問に対して、最も多かったのが「授業の進め方」で24人、次に「授業の内容」で19人、続いて「私語等への対応」で14人という結果でした。「授業の進め方」については、毎回教員の意識が高いです。

## 問3 「自由記述アンケート」は参考になりますか？



◆この質問に対して、「まあまあ参考になる」「とても参考になる」と回答した教員は合計で89%です。自由記述アンケートに対して肯定的な評価がされていると感じます。

以下に自由記述に対する先生方のコメントを掲載しています。



### 『参考になる』と回答された先生方の主なコメント

- ・ 良い点よりも不満点を書いてあると、とても参考になる。「このような事で困っていたのだな」など、はっきり分かる。こちらが気付かないことを指摘してくれる。
- ・ 今後の授業のあり方を考える上で貴重な意見として受けとめている。
- ・ 励ましにもなるし、多様な受けとめ方があることを知って反省材料ともなる。
- ・ プラス評価、マイナス評価ともに授業改善に役に立つ。特にマイナス評価の中にある授業内容の意義について、理解ができていない学生を次年度少なくするのに役立つ。
- ・ 学生の客観的・主観的な見方は、自分の授業の特に改善点に活かせると思う。

### 『あまり参考にならない』と回答された先生方の主なコメント

- ・ 学生たちの無記入が多い。
- ・ マークカードの回答との間にかい離があるから。
- ・ 的外れな記述が多い。